

## 戦闘の開始処理

### ①戦闘終了条件の確認

勝利条件：小橋の撃破

敗北条件：PC全員の戦場から離脱

#### ○登場エネミー

- ・小橋カズミ
- ・脅迫した錬金術師

#### ○第三勢力

- ・畠平

#### ○特殊な条件

畠平は毒に蝕まれており、放っておくと3ラウンド目のシチュエーションで死亡してしまいます。

### ②「場転の時」の処理

本シナリオに場転の時はないため、処理はありません

## エンディング

クライマックス戦闘の勝敗に応じて、エンディングの描写を行ってください。

#### ▼戦闘に敗北した場合

動けないPCたちの体を蹴り飛ばしながら、小橋は畠平を蹴ります。

小橋「ははっ……やった、やったぞ!! 罪もない父さん殺したヤクザなんて、こんな風に潰されて終わるんだ! ざまあないぜ!!」

小橋「じゃあな、畠平さん。向こうに行ったら、父さんにちゃんと詫言入れてくださいよ」

畠平は毒でこと切れ、小橋はその場を後にします。

しばらくして葛島組の組員が救援に来てくれます。畠平が命を落としたこと、小橋を逃がしたことを親分に報告すると、親分は大粒の涙を流しながらもPCたちの善戦を労ってくれました。

畠平の葬式が執り行われる中で、畠平に対する想いをPCから語らせてシナリオを終了してください。

#### ▼畠平を救えなかったが、戦闘に勝利した場合

小橋は地面に仰向けに倒れ、空に向かって笑います。

小橋「ははは……あははは! 最後のショーは見せられなかったけど、ちゃんと父さんの仇は討てた。俺はこれで満足だ。あとは煮るなり焼くなり、そっちの好きにしま」

葛島組の組員が救援に駆け付けてくれ、PCを手当てしてくれます。小橋は身柄を拘束して葛島組に連れ帰り、畠平の遺体は丁寧に運ばれました。小橋は捕えたが畠平が命を落と

たことを親分に報告すると、親分は大粒の涙を流しながらもPCたちの善戦を労ってくれました。

畠平の葬式が執り行われる中で、畠平に対する想いをPCから語らせてください。

小橋の処遇については、親分からPCに一任されています。小橋の最後を演出し、シナリオを終了してください。

#### ▼畠平を救ったうえで、戦闘に勝利した場合

小橋は地面に仰向けに倒れ、空に向かって叫びます。

小橋「ちくしょう……ちくしょう! なんで俺ばかりがこんな惨めな目に合わなきゃならないんだ!」

動けない小橋に、畠平がよろよろと立ち上がって近づきます。

畠平「小橋よ、確かにてめえの父親を殺したのは俺だ。だがな、そうすることがアイツのためでもあったんだ。アイツは確かに葛島組を裏切った。もっとでけえアガリ(儲けのこと)が欲しかったって常日頃口にしてやがったからな……そこを田平組に唆されたんだろうよ。そのアガリだって、てめえのためだったかもしれねえ。でも、だったら尚のこと、筋を通したシノギ(ヤクザの商売のこと)で稼ぐべきだった。ヤクザってのは仁義を通さないと敵を増やすばかりだ。あのままじゃ、もっと惨い死に方をしてたかもしれねえ。同じ組のよしみで、俺がケジメをつけさせてやったのさ」

畠平は小橋の肩に手を置き、まっすぐと目を見据えて語り掛けます。

畠平「アイツがお前にヤクザのことを教えてなかったのは、せめてもの親心だったんじゃないかねえのか。お前から見たら、さぞかし立派な父親だったんだろうよ。そんな父親を殺した俺がさぞかし憎いだろう。だったら、お前の気が済むまで相手してやる。だから、次は直接俺のところに来い。絶対だぞ」

畠平はドスの効いた声で小橋にそう告げると、ゆっくり立ち上がってその場を去ろうとします。小橋はその場に放置するつもりようです。PCから小橋に伝えたいことがあるようなら、ここで描写を行ってください。

それから葛島組の救援が到着し、畠平とPCを乗せて事務所へと帰ります。帰りの車内で、畠平はPCにお礼を言います。

畠平「PC①、PC②先生、今回は本当に世話になった。2人がいなかったら、俺も葛島組もどうなったか……。PC②先生には、報酬に色つけさせてもらいます。あまり多くはないかもしれませんが、どうか取めてください」

畠平「それと、先生さえよければウチの組に入りませんか？」

やっぱり先生の力は本物だ。オヤジだって、先生がウチの組に入ってくれるなら喜ぶに違いない。それに、PC①にばかり負担をかけるのも、兄貴分としてなんとかしてやりたいとずっと思ってたんです」

# アロイとアストラル

PC②が葛島組に入ると答えれば、皐平は喜ぶことでしょう。葛島組に入らないと答えれば、寂しそうにはしますが、強引な勧誘はせずまた困ったときは頼らせてほしいと頭を下げるでしょう。

もしPC②がオーバーラインを譲渡するかによって決断したいと申し出た場合、しばらく時間はかかりますが組長の治療が終わり次第渡すことは可能です。GMの裁量で、皐平にどう答えさせるか決定してください。

**皐平**「それとPC①……お前もいつのまにか成長してたんだな。正直お前にはこの件は荷が重いと思っていたが、予想を遥かに上回る働きを見せてくれた。ありがとう。今夜は俺の奢りだ、どんな店にでも連れてってやるよ」

**皐平**「……それはそれとして、実際のところ俺が錬金術師になれなくてどう思ってるんだ？ 残念なのか、ホッとしてるのか。どっちだとして怒りはしないから、正直に言ってみな」

PC①が「皐平の意思を尊重して錬金術師にしようと思っていた」と答えた場合、次の台詞で応えてください。

**皐平**「全くお前は、どこまで俺の言うことを聞くつもりなんだか……。でも、ありがとう。お前がまっすぐ慕ってくれ

るから、俺は俺のままでもいいからな」

PC①が「皐平に錬金術師になってほしくなかった」と答えた場合、次の台詞で応えてください。

**皐平**「おうおう、もう一丁前に俺に意見するようになったのか？ ……でも、ありがとう。それがお前なりに俺を心配してくれて出した結論なんだもんな。俺もその気持ちに応えるのが、兄貴分ってもんだ」

**皐平**「結局俺は錬金術師になれなかったけど、今ではそれでいいと思ってる。俺が本当に手に入れなきゃならないことは、『組のためなら俺はどうなってもいい』じゃなくて『自分を気にかけてくれる人のことを忘れない』だったんだ。俺にはPC①やおヤジや、葛島組の面々がいる。もちろんPC②先生も。みんなに胸張れるような働きを、これからも見せていかないとな」

皐平はどこか吹っ切れた様子で、車の窓から事務所までの道を眺めています。

これにてセッションは終了です。感想戦、後片付けを行ってください。お疲れ様でした。

## PCの公開情報

PC①

ヤクザの舎弟

伊郷市の繁華街を仕切るヤクザ「葛島組」の幹部である皐平りょうじを慕っている。  
皐平が錬金術師になれる薬「ボーダーライン」を探しており、それを手伝っている。

〈指定〉学派：リベリオンズ・ギルド

PC②

ヤクザの先生

錬金術師になってしまい、家族と離れることを余儀なくされた。トラブルに困っていた葛島組を助けたことがあり、その縁で皐平に協力を頼まれた。

〈指定〉学派：ルーツレス

## ドラマポイント

No.1

ボーダーラインの使用者

トリガー

—

相手は葛島組と仕事をしたことのある運び屋の錬金術師。  
相手方の指定で、ある倉庫に呼び出されている。

No.2

新田平組、襲来

トリガー

—

皐平の携帯に、組員から連絡があった。  
「新田平組の連中が、事務所にかチコミをかけてきやがった！」

No.3

親分の手紙

トリガー

—

組長の知人が、葛島組の錬金術師に渡したいものがあるという。  
呼び出されているのは街はずれの洋食屋だ。

No.4

新田平組のアジト

トリガー

No.3の情報を持っているPC

オーナーが、新田平組のアジトの場所を教えてくれた。  
罣があるかもしれない、慎重に調べよう。



## PCの非公開情報

### PC①／情報深度：1

錬金術師になって、家族に見捨てられた。

何日か自力で生きようとしたが、なんの備えもなく生きられるはずがなかった。

自棄を起こして通行人を襲ったが、不意に錬金術を使ってしまいH.E.A.に通報されてしまう。

慣れない錬金術で必死に抵抗し、なんとか追っ手から逃げることはできた。

だがエリクサーを使い切ってしまう、捕まるのは時間の問題だった。その時、畠平が通りかかった。

「行く当てがないなら、ウチに來い。ちょっと錬金術師を探しててな。メンも食わせてやるよ」

ぶっきらぼうな態度だったが、その言葉に心から救われた。

それからは、その恩に報いるように畠平のために働いた。

所属は葛島組だが、組と付き合いのあるギルドの錬金術師に師事して錬金術も学んだ。

今回、畠平がボーダーラインに拘る理由を知っている。

近頃、葛島組は錬金術師のヤクザ組織「新田平組」の襲撃を受けている。

自分が畠平に仕えるように、親分に仕える畠平は、自分が錬金術師になって親分の役に立とうとしているのだ。

その気持ちが痛いほどわかるため、普段以上に張り切っている。

キミの目的は「畠平を錬金術師にすること」だ。

### PC①／情報深度：2

畠平に恩義を感じていることに偽りはないが、実はもう一つ抱えている感情がある。

それは、信頼していた人間に再び捨てられる恐怖。畠平にとって自分は有用であることを証明したい。

そうしないと捨てられてしまうかもしれないから。

違うと思ったことでも、たてついて嫌われるのが怖い。

だが、心のどこかで畠平が錬金術師になることを望んでいない自分がいることに気付いていた。

ヤクザだから既に社会的なデメリットを抱えているし、抗争が起こっても錬金術師なら丈夫な体で生き延びられる。

そう考えればメリットがある選択だが、錬金術師であるデメリットもある。

H.E.A.を筆頭に、他学派の錬金術師と敵対するリスクがある。

また、錬金術師同士で争えば命を落とすこともある。そうなれば、頑丈な肉体というメリットはないも同然だ。

畠平自身が望んでいるからと言って、今以上に危険な環境に進ませることが本当に畠平のためなのか？

その危険は、錬金術師の自分が背負えばいいのではないだろうか。

キミの本当の目的は「畠平が錬金術師になるのを止めること」だ。

PC②／情報深度：1

錬金術師になってしまい、家族と離れることを選んだ。  
息子も妻（もしくは夫）も、自分のことを大事にしてくれている。  
きっと庇おうとするに違いない。家族を巻き添えにして、危険にさらすわけにはいかない。

だが何も言わずに立ち去っても、搜索願などが出されて心配をかけ続けることになる。  
どうしたものかと悩んでいたら、ヤクザと錬金術師が争っているところに出くわしてしまった。  
なし崩し的にヤクザの味方をする事になり、その場を収めることができた。  
ヤクザが伊郷市を治める葛島組と知り、何か礼をさせてほしいと言われた。  
そこで家族に自分の無事としばらく帰れないことを伝えてほしいというと、少しでいいから事務所に来てくれないかと誘われた。  
乗り気ではなかったが、錬金術師が表社会で力を借りることができる施設は限られている。

やむを得ず事務所におもむき、畠平に面通しをすることになった。  
畠平は組員を助けてくれたことに礼を言い、自分を「先生」と呼んでいろんな話をした。  
数日を葛島組で過ごし、畠平はまた何かあれば頼ってくれと言って送り出してくれた。  
ヤクザと一口に言ってもいろいろなものだと感心し、家に帰る手段を模索するためにルーツレスのたまり場に足を向けた。

PC②／情報深度：2

完全に<sup>オルディナ</sup>一般人に戻れなくても、疑似的に戻る方法はないのかと考えた。  
似たような目的を持つ錬金術師は存外いるもので、彼らと協力してひとつの術師の器具を完成させた。  
それは『オーバーライン』と名付けられた、強制的にエリクサーを放出するシート状のアイテムだった。  
体に張り付けると透明化し、バレることもない。  
これでエリクサーを<sup>オルディナ</sup>枯渇させることで、一般人と同等の体を手に入れることができる。  
H.E.A.等の追跡に引っかからない仕組みも施されている。

それを持って家族に会いに行くが、運悪くH.E.A.の錬金術師「小橋カズミ」に鉢合わせてしまう。  
小橋はオーバーラインに目をつけ、それを寄越すなら見逃してやると言ってきた。  
捕まっては元も子もないと、オーバーラインを差し出すことにした。

それからしばらくして、『ボーダーライン』の噂を耳にした。  
自分と逆の効果を持つ薬が出回っているということは、それを元に新たなオーバーラインを作れるかもしれない。

キミの目的は「オーバーラインまたはそれに準ずる手段を手に入れること」だ。

## 情報カード

### No.1 ポーダーラインの使用者/使った時の詳細

荷物を運び終え、運び屋は感謝してポーダーラインを使う前後のことを話してくれた。

数日前に目覚めると、全身からエリクサーがなくなっている感覚に見舞われた。  
 錬金術師になって久しく体感していない、風邪を引いたような気怠い状態だったという。  
 正確には「生成した傍から抜け出していく感覚」があったそうだ。  
 そんな状態なので仕事もできず、行きつけの店で治す方法を仲間の錬金術師たちに相談していた。  
 そこにフードで顔を隠した錬金術師がやってきた。  
 錬金術師に何やら全身を調べられ、「それならちょうど試したかった薬がある」と薬の入った瓶を渡してきた。  
 瓶に入っていた錠剤を飲むと、徐々にエリクサーが漏れ出していく感覚が収まっていった。  
 「その薬で完治するから、必ず飲み切るように。  
 その薬はエリクシル細胞を刺激し、強制的に活性化させる『ポーダーライン』という。  
オルディナ  
 一般人を錬金術師にするために作ったが、まさかこんなところで役に立つとは……。  
 効果も実証できたところで、こいつを売り込みたい。誰か買い取ってくれるような者に心当たりはないか？  
 できれば裏社会の人間だといろいろと都合がいい」と言われた。

#### [以下ディレクターPC(+演出手助けPC)のみ閲覧可能]

ふと、錬金術師の首のあたりに四角い跡ができていることに気付いた。  
 本人は全く気付いていなかったらしく、またそのあたりに湿布などを貼っていたこともないという。  
 よく思い出してもらおうと、ちょうどエリクサーが空になる前日に居酒屋で飲んだ際、隣の客が妙に絡んできたそうだ。  
 その客がやたらと肩を組んだり叩いたりしてきた気がする……とのこと。

### No.2 新田平組、襲来/錬金術師たちの話

PCたちが新田平組の錬金術師たちを取り押さえると、親分が圧をかけて詰め寄る。  
 親分「おめえら、見ない顔だな……。田平組との抗争については、ちゃんとことを収めたはずだ。  
 それを今更蒸し返そうってのは、どうも腑に落ちねえ。一体どいつの差し金だ？」

親分のプレッシャーに完全に気圧され、錬金術師たちは口々に語り始めた。  
 彼らはヤクザと提携した錬金術師ではない。それどころか「新田平組」というヤクザすら存在しないという。  
 彼らに今回の襲撃を指示したのは「小橋カズミ」というH.E.A.局員。  
 「言うことを聞かなければ局で厳しい処分を下すことになる」と脅され、従う外なかった。  
 「島平を寄越せば手打ちにしてやる」と組長に伝えること、他の組員は適当にあしらうことを指示された。  
 島平がその場にいれば後で指示する場所に連れていき、いなければそのまま撤収して構わないとも言われていた。  
 錬金術師たちは普段人目から隠れて密かに暮らしている温厚な者たちだったので、人を襲うというこの仕事自体に乗り気ではなかった。  
 しかしこなさない自分がひどい目に合うので、最低限の攻撃に留めていたという。

#### [以下ディレクターPC(+演出手助けPC)のみ閲覧可能]

錬金術師の1人が、小橋と話す機会があったという。  
 島平という男はどんな人間なのか？と聞いたところ「人の父親を殺しておきながら、出世して、のうのうと生きているクソ野郎」と言っていたそうだ。



## No.3 親分の手紙/手紙の中身

無事テストをクリアし、オーナーから手紙を受け取った。  
組長は受け取った錬金術師がその場で読むことも指示していた。

「これ読んでる組の錬金術師へ。今後、葛島組に起こりうる最悪のシナリオを書き残しておく。  
この手紙を開くときが来たら、このことを組の連中に伝えてほしい。特に、畠平は心して聞くように。  
葛島組は、同門の田平組と抗争状態になったことがある。それは1人の組員の裏切りで始まった。  
そいつは葛島組の情報を田平組に流し、ウチへの襲撃を何度か手引きしていた。  
それに真っ先に気づいたのが畠平だった。畠平はその裏切りを俺に知らせ、俺は即刻裏切り者を破門した。  
そいつはすぐに田平組に鞍替えして、本格的にウチを潰そうとしてきやがったんだ。田平組の方が稼げるとでも思ったんだろうな。  
それから本格的なドンパチが始まり、その中で裏切り者は死んだ。畠平が落とし前をつけさせたって言ってたよ。  
上の組から手打ちの話があり、抗争は終わった。田平組はその後で評判がガタ落ちし、看板を畳むことになった。

それで全て終わったはずだったんだが、少し前に裏切り者の息子が伊郷市に来たという話を耳にした。  
抗争の後、母方の姓である「小橋」を名乗っていたらしい。それで今になるまで気づけなかったんだ。  
今後ウチが錬金術師と事を構えたとすれば、この息子じゃないかと俺は睨んでる。そいつはきつと、父親が死ぬきっかけを作った俺を  
狙いに来るはずだ。  
その時は、素直に俺の首を差し出してやれ。俺のせいでお前たちが苦しむところはみたくない。それが俺なりのケジメだ。  
もしかしたら、自分が錬金術師になって……とか言い出すやつもいるかもしれん。それを止めることは、俺にはできないだろう。  
ただ、お前が錬金術師になったことで守れるものもあるかもしれないが、傷つけることになるものもあるはずだ。それだけは肝に銘じて  
ほしい。  
この手紙を錬金術師に読ませるのは、錬金術師にしかわからない苦勞があると思っているからだ。そいつの気持ちをきちんと聞いてから  
結論を出せよな。

ここまで書いておいてなんだが、もし小橋の息子以外とやり合うことになったら、それはお前らの代の問題だ。お前らで片づける。  
俺が手塩にかけて育て上げた葛島組の看板を、どこの馬の骨ともわからないやつに譲るんじゃねえぞ」

手紙を読み終わると、オーナーが一枚のメモを差し出した。中には住所が書かれていた。  
オーナー「余計なお世話かとも思いましたが、私から組長さんへの個人的な恩返しだと思ってください。  
そこに書かれているのは、最近葛島組さんにちょっかいをかけている連中のたまり場です。それをどう使うかは、あなたたちにお任せ  
します」

**【以下ディレクターPC (+演出手助けPC) のみ閲覧可能】**

ジョーカー「親分の手紙」を手に入れる。

## No.4 新田平組のアジト/押し入れの中

なんとか帯から抜け出し、気急さを感じながら押し入れの中を調べた。

押し入れの中には、スパイ映画のように写真が何枚も張り付けてあった。  
その中心には畠平の写真があり、線をつないで親分やPC①、葛島組の組員の写真も貼ってある。

押し入れには手記らしきものもあり、その中には一連の出来事に関する記述があった。主に畠平への恨みがつづられている。

「まさか俺がこの街に帰ってくることになるとは思わなかった。

しかも着任早々に葛島組の話題だ……胸糞が悪い。

父さんを殺した畠平とかいうヤクザは、今や葛島組のNo.2にまでの上がったらしい。

父さんはヤクザと何の関係もない、ただのサラリーマンだった。運悪く抗争の近くを通りがかっただけで、わざわざ殺す必要なんてないはずなのに!!

俺や母さんみたいな犠牲者が出ているのも気にせず、なんて連中だ。

……やっぱり駄目だ。この街に帰ってきたなら、あいつを殺さないと気が済まない!」

「いつもみたいにストック用の錬金術師を漁っていたら、オーバーラインとかいう術師ユウテイリテイの器具をいただいた。

こいつは畠平に痛い目を合わせるのに使えそうだ」

「新田平組なんて名前にしとけば、バカでも気付くだろうな。むしろ気付いてくれなきゃ困る。

まあヤクザがどうやって活動してるかなんて知らないが、所詮は餌だ。

あまり深い設定を練らなくてもいいだろう」

「よりによってPC②と畠平にコネがあったなんて……想定外だ。

ボーターラインの正体がただのビタミン剤だってことに気付かれなきゃいいが」

「やっぱり普段隠れて暮らしてる小心者どもにヤクザの真実は厳しかったか。

まああの場の油断を誘い、親分の腹をぶち抜けたから結果オーライではある。

あの時の畠平の慌てた顔、最高だったな。もっとだ、もっと苦しめ」

手記に「オーバーラインの使い方」と書かれたメモも入っていた。

錬金術師の体に貼りつくと透明化するシート状の術師ユウテイリテイの器具で、使用者のエリクサーを霧散させる作用があると書かれている。

帯に巻きつけられた箇所を注意深く触ると、見えない湿布のようなものがあることがわかる。

それをはがすと、エリクサーが抜ける感覚がストップし、体調も徐々に戻っていく。

**[以下ディレクターPC(+演出手助けPC)のみ閲覧可能]**

ジョーカー「オーバーライン」を入手する。

## エネミーデータ

Lv. <b>3</b>	<b>小橋カズミ</b>			身体	意思	神秘
				30	55	30
No	コスト	錬金術	効果			
①	3	重壁	・対象が行う属性1つへの攻撃ロールダイスを+2 ・対象に行われる属性1つへの攻撃ビックダイス-1【支・防/サポート/ロール前/自・他】			
②	-	六八型装甲着	ストックが[2/5/8]の時、自身に対する攻撃のビックダイスを[-1/-2/-4]できる。 減らしたビックダイスの分、ストックを減らす			
③	3	細胞活性化剤	対象が行う攻撃のロールダイスを+2【支/サポート/ロール前/自】			
④	4	二二型閃光灯改式	任意の対象の身体か意思に3D▶3DのDM【攻/アタック/ロール後】 10点以上のDMを与えた場合、指定した錬金術のストック-1。			
⑤	5	鋼多杭	全てのPCの任意の属性1つに5D▶4D			
⑥	9	獄星砲	対象の任意の属性に7D▶8D。身体への攻撃の場合はロールダイス+5Dする。 発動は無効化されない			
◎【H.E.A.製試作戦闘支援デバイス】			◎【ヤクザへの怒り】			
1stウルダイスのダイス数を、+4Dする。			身体にダメージを受けた時、任意の錬金術のストックを2追加する。			
H.E.A.の錬金術師。学士級。 錬金術の腕前は高くないため、H.E.A.の装備品で補っている。						

Lv. <b>2</b>	<b>シチュエーション</b> <b>畠平を蝕む毒</b>		シチュエーション解決方法
			神秘に25点以上
アクション	効果		
運動性の毒	畠平の身体に10点のDMを与える。		
小橋が調査した錬金術製の毒。 投与された者の体力を徐々に奪っていく。			



Lv. <b>2</b>	<b>脅迫した錬金術師</b>		
	身体	意思	神秘
	30	10	30
アクション	効果		
ヤケクソ	PCと畠平の中からランダムな1人の属性に[5D▶3D]のDM		
<p>◎【やる気なし】 2属性がブレイクした時点で、戦闘から離脱する。</p>			
<p>小橋がH.E.A.への通報を黙っておく代わりに言うことを聞かせている錬金術師。 普段は隠れて生活しているため、戦闘は得意ではない。</p>			

Lv. <b>1</b>	<b>畠平</b>		
	身体	意思	神秘
	15	30	0
アクション	効果		
なし	-		
<p>◎【毒の効果】 身体の属性がブレイクしたとき、このキャラクターは死亡する。</p>		<p>◎【気絶】 シチュエーション『畠平を蝕む毒』が解決されていて、意思の属性がブレイクしたとき、このキャラクターは戦闘から離脱する。</p>	
<p>小橋に毒を盛られた状態の畠平。 苦しんでいるが、小橋を殴りに行きそうなほどにらみつけている。</p>			